



医療法人社団 芙蓉会
ふよう病院

芙蓉ミオ・ファミリア町田
グループホームあおぞら
デイサービスふれあいルーム
千葉芙蓉病院
きやらの樹ケアセンター

芙蓉会社内報

やすらぎ

平成27年4月発行

ふよう病院

院内職員研修会報告

1月開催「虐待防止について」

発表者：(株)川原経営総合センター 新井氏

1. 虐待とは

自分の保護下にある者に対して、長期的にわたって暴力をふるったり、日常的に嫌がらせや無視などの行為を行うこと。

2. 虐待の主な種類

身体的虐待・心理的虐待・性的虐待・経済的虐待・世話の放置、放任

3. 虐待が起こる原因

仕事に対するモチベーション・目的・プライド・使命感などの低下、職場の雰囲気、コミュニケーション不足等

4. 虐待防止

仕事の目的と使命の共有→ふよう病院信条に基づいて行動していれば、虐待行動は生まれない！

<まとめ>

虐待と聞くと子供に対する行為を思い浮かべますが、今日ではさまざまな場面で虐待が存在するのだという事に、改めて驚きました。

自分が発する何気ない言葉が人を傷つけ、ひいては虐待と受け取られるのではないかという心配を払拭するためにも、そして、その悪循環に実際にはまらないためにも、挨拶・声かけ・語り合いなど、日々のコミュニケーションを大事にしていきたいと思いました。



ふよう病院信条

- 一 私たちは、患者様に対する思いやりとハートのある言動を心がけます。
- 一 私たちは、患者様の人格を尊重し、生き生きとした人生を応援します。
- 一 私たちは、地域社会の信頼を得るべく努力します
- 一 私たちは、常に向上心を持ち、知識と技術の研鑽に励みます
- 一 私たちは、チームワークを大切にし、質の高い看護・介護サービスを提供します。

2月開催「インフルエンザについて その2」

発表者：佐藤院長

近年、H5N1型およびH7N9型鳥インフルエンザの、鳥から人への感染が注目されている。今回は、その驚異的な感染力についての講義。

前半にDVDを視聴し、その後、院長より説明をいただきました。

<まとめ>

ありとあらゆるシチュエーションでウイルスが増殖し感染していく様は、実際に人から人への鳥インフルエンザウイルス感染が起きたらと考えると、恐怖すら感じる程でした。

しかし、人類は現在に至るまでも、さまざまなウイルスと闘い生き延びて来たわけです。私たちに今できることは、知識をフルに生かし、医療従事者として感染に立ち向かっていくこと。そして、まずは今回の講習で学んだことを、現存する他の感染症の予防にも生かしていきたいと思いました。



解体ショー

2月26日（木）に「ブリの解体ショー」が行われました。目の前で大きなブリが鮮やかに解体されていく様子に、ご入居者の皆様からも感嘆の声があがります。後ろの席の方も立ち上がって真剣にご覧になり、中には写真を熱心に撮る方も。

初めてこの企画に参加された、新しいご入居者様からは、さばきたてのお刺身をホームでも食べられるなんてと、サプライズのイベントに喜びの声があがり、皆様、脂ののったブリを堪能されていた様子でした。



懐メロー座

毎年恒例の「懐メロー座」による、昭和歌謡ショーの公演が行われました。

「東京ブギウギ」「蘇州夜曲」「柔」等、曲ごとに着物やスーツ、ドレス等の衣装に着替え、セッ

トを変えて、懐かしい曲が次々と流れます。皆様、手拍子をしたり一緒に口ずさんだりして、昭和の雰囲気タイムスリップしたかのようなひとときを楽しんで下さいました。



お花見

当ホームでは、ご入居者の皆様に満開の桜をご覧いただこうと、毎年桜前線が近づくにつれ、開花の様子を見ながらスタッフ一同天気予報にとらめっこ。

今年は、急激に気温が上がって一気に咲き進んだ桜と、穏やかな天気の日のおかげで日程調整が難しく、予定を変更しながら、数日間に分けてお花見に行くことにしました。

行きがけの道に続く桜のトンネルに目をやりながら、あちこちの桜の名所の話をしたり、車の中から盛りあがって、久々の外出に笑顔満面の皆様方。

目的地では、恩田川に沿ってお散歩をしながら川面に迫る見事な枝ぶりを愛で、ポカポカ陽気の中でのお花見を喜んでいただけた様子でした。



職場体験の中学生と一緒に

職場体験の中学生3名と、5日間一緒に過ごしました。はじめのうちは、自分たちのおじいちゃん、おばあちゃんよりも年齢を重ねているご入居者様と、どのように接してよいか戸惑っていた中学生たち。でも、ホットケーキを一緒に作ったり、クイズや買い物、散歩を一緒に楽

しんだり、一緒に過ごす時間を重ねていくうちに、少しずつご入居者様との会話も笑顔も増えていきました。ときには、人生の大先輩のご入居者様からアドバイスをいただくことも。

ご入居者様、中学生ともに、お互いに良い時間を過ごすことができました。



お花見を先取り！

中庭の河津桜と梅が満開になった3月のある日のこと。いつものように「きょうのお昼は何を食べましょうか」と、みんなで話をしていたら「お天気がいいからお庭で食べませんか」との提案があり、食べやすいサンドイッチを作っ

て、中庭でプチお花見をすることになりました。少し先取りの春を楽しみながらサンドイッチをほおばった後は、宴会気分で、炭坑節に東京音頭が始まって…。なんと盆踊りまで先取りしてしまいました。



初！おやつバイキング

3月4日（水）初めて「おやつバイキング」を開催しました。

栄養科のスタッフが心を込めて手作りしたお菓子や、きれいにカットされたフルーツ。ワゴンに乗せられて続々登場する盛り皿に、ご利用者の皆様はどんどん笑顔になっていきました。男性のご利用者様も甘いものに目がない方が多く、

「おかわりはいかがですか」の問いかけに、何度も頷いて応えてくださいました。

大いに盛り上がったバイキング。これからもご利用者様に楽しんでいただける企画を、スタッフみんなで考えていきたいと思ひます。ご期待ください！



27年度行事予定

- 1月 カルタ大会
- 2月 節分、豆まき
- 3月 ひな祭り
- 4月 お花見ドライブ
- 5月 お節句
- 6月 家族会
- 7月 七夕祭り
- 8月 夏祭り
- 9月 カラオケ大会、敬老祭り
- 10月 バイキング
- 11月 紅葉狩りドライブ、家族会、職場体験
- 12月 クリスマス会

玄関の掲示BOXが新しくなりました

季節ごとのご利用者様の作品を掲示しています。ぜひご覧ください。



節分

2月3日（火）各施設において、節分行事が行われました。毎年恒例で、年男、年女の職員が、鬼に扮して全館を廻ります。リアルな鬼の紛争

におおいに盛り上がり、豆をまく皆様の「鬼は外、福は内」の、楽しそうな大きな声が、あちこちで響いていました。



ひなまつり

年度末を締めくくる年間レクリエーション行事のひとつ、ひなまつり。芙蓉病院では、職員手作りのお雛様とお内裏様の衣装を患者様に着せていただいて記念撮影をしました。また、きゃ

らの樹ケアセンターでは、有志のご利用者様にお雛様役をしていただき、内裏雛に扮した職員と、全館内を巡ってご利用者様と写真撮影をしていただきました。



年間レクリエーション行事をとおして、皆様一人ひとりが、ご家族様と過ごされた楽しい時間を思い出し、少しでも幸せな気持ちになってくだされば嬉しいです。今年度も、皆様の笑顔からレクリエーションを行う意味とやりがいを教えていただきました。ご協力ありがとうございました。（レクリエーション係一同）